

グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2019年3月4日～2019年6月20日

第 1 期 決算日：2019年6月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、外国投資法人の円建ての投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等に分散投資を行い、主として中長期的な値上がり益の獲得及び利子収益の確保をめざす運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第 1 期末 (2019年6月20日)

基準価額	9,945円
純資産総額	10百万円
騰落率	-0.6%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

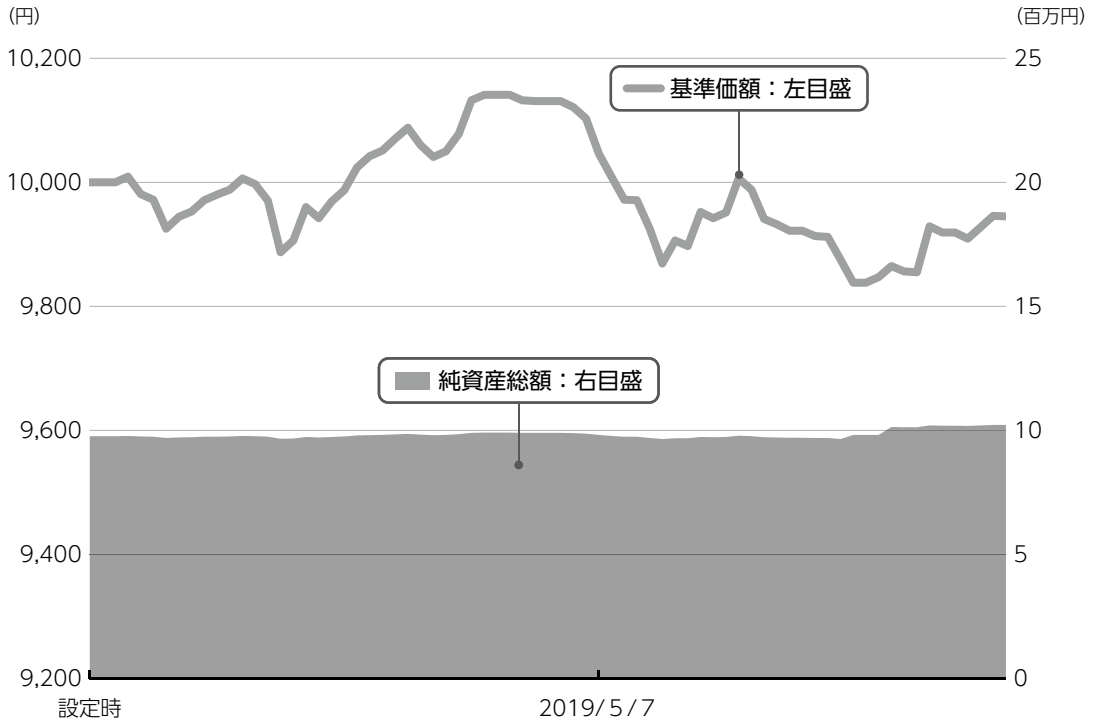
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第1期：2019年3月4日～2019年6月20日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第1期末	9,945円
既払分配金	0円
騰落率	-0.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ0.6%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国の債券への積極姿勢や社債の利子収入を獲得したこと

下落要因

米ドルが円に対して下落したこと

2019年3月4日～2019年6月20日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	18	0.185	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(5)	(0.048)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(13)	(0.129)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.008)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.000)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	18	0.185	

期中の平均基準価額は、9,980円です。

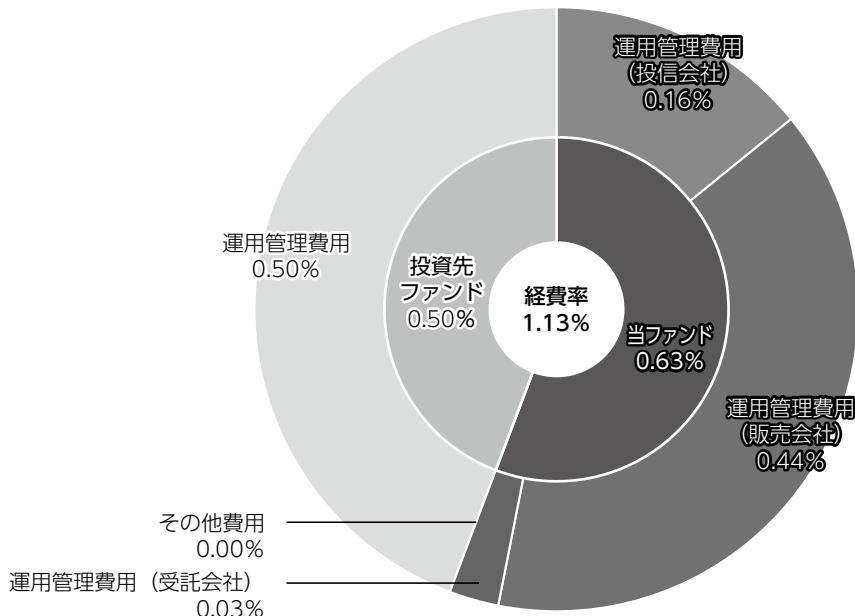
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.13%**です。



経費率 (①+②)	(%)	1.13
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.63
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.50

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

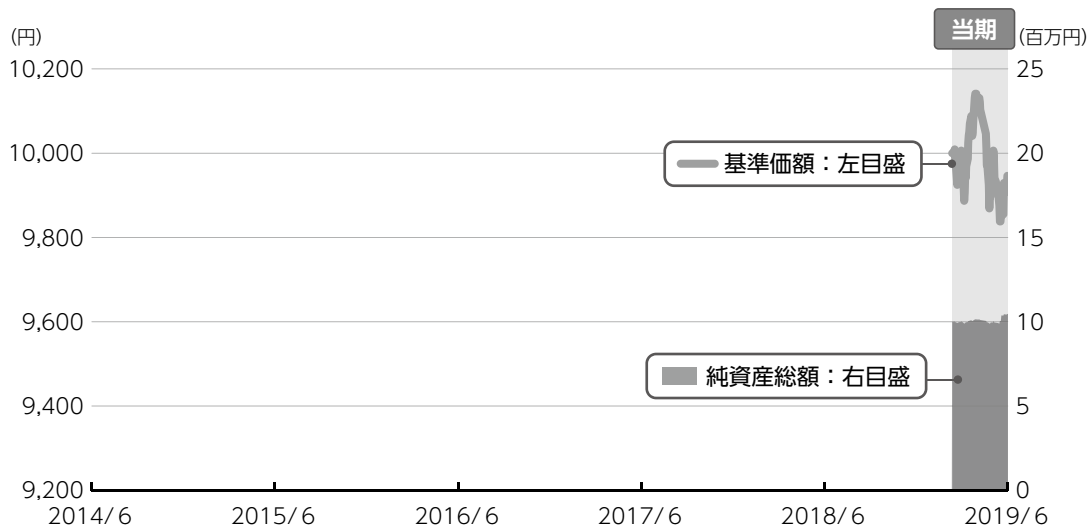
(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

2014年6月20日～2019年6月20日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

		-	-	-	-	-	2019/6/20 決算日
基準価額	(円)	-	-	-	-	-	9,945
期間分配金合計 (税込み)	(円)	-	-	-	-	-	-
基準価額騰落率	(%)	-	-	-	-	-	-
純資産総額	(百万円)	-	-	-	-	-	10

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第1期：2019年3月4日～2019年6月20日

投資環境について

▶ グローバル投資適格債券市況

設定時からのグローバル投資適格債券市況は上昇しました。

設定時から2019年3月末にかけて主要国の景気減速懸念などを背景に米国などで長期金利が低下する中でグローバル投資適格債券市況は堅調に推移しました。その後、米国や中国の経済指標が市場予想を上回り、一時的に欧米主要国の長期金利が上昇する場面があったものの、2019年5月上旬以降は米中貿易摩擦に対する懸念が高まったことや市場参加者の間で米国の利下げ観測が高まったことなどを背景に欧米主要国の長期金利が大幅に低下したことなどがプラスに寄与し、当期を通じて見ると、グローバル投資適格債券市況は上昇しました。

▶ 為替市況

設定時からの為替市況では米ドルが対円で下落しました。

米中貿易摩擦への懸念の高まりなどを受けて市場参加者のリスク回避姿勢が強まっていることや、米国で利下げ観測が高まっていることなどを背景に米ドルが対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年6月20日のコール・レートは-0.068%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・インカム・フルコース（為替ヘッジなし）

投資対象ファンドであるブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建てへの投資を通じて、日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ）

の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等に分散投資を行い、主として中長期的な値上がり益の獲得及び利子収益の確保をめざす運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ **ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド・クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て金利戦略**

米国ではインフレが概ね抑制されていくとの見通しから、米国の債券に対して積極姿勢とした他、米ドルの上昇に一服感

が出ていることや中国の景気刺激策による中国の景気回復のメリットを受けると考えられることから新興国債券に対しても積極姿勢としました。

▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざして運用を行いました。

▶ **当該投資信託のベンチマークとの差異について**

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ **分配金について**

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第1期 2019年3月4日～2019年6月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	64

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ グローバル・インカム・フルコース （為替ヘッジなし）

投資対象ファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等に分散投資を行い、主として中長期的な値上がり益の獲得及び利子収益の確保をめざす運用を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の一部組み入れを行います。

▶ ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド・クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て 運用環境の見通し

米国では、貿易摩擦等による景気減速への懸念等を背景に緩和的な政策がとられる可能性が高まっていると見ています。一方欧州では、英国と欧州連合（EU）の関係を巡る不透明感などが続くと見込まれることに加え、イタリアの財政赤字を巡る対立などの問題があります。中国に関しては、景気刺激策により景気が下支えされることへの期待が高まっており、新興国の景気にとってもプラスと見ています。

今後の運用方針

米国で緩和的な政策がとられる可能性が高まっていると見ていることから、米国の債券に対して積極姿勢とする方針です。欧州については、ドイツの債券に対して消極姿勢とする一方、フランスやイタリアの債券に対して積極姿勢とする方針です。また、米ドルの上昇に一服感が出ていることや中国の景気刺激策による中国の景気回復のメリットを受けると考えられることから新興国債券に対しても積極姿勢とする方針です。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド 運用環境の見通し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

今後の運用方針

コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

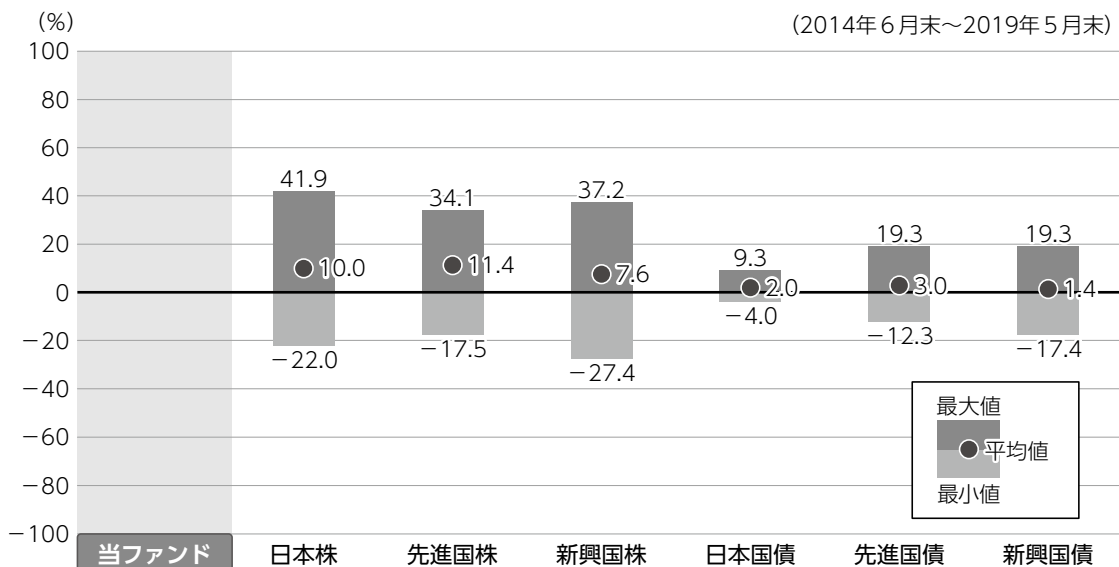
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2029年6月20日まで（2019年3月4日設定）
運用方針	<p>外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズーフイクسد・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドの円建ての投資信託証券（クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等に投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券へも投資します。外国投資法人の投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド ブラックロック・グローバル・ファンズーフイクسد・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建ておよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ブラックロック・グローバル・ファンズーフイクسد・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て 世界各国の様々な通貨建ての幅広い種類の債券やそれらの派生商品等を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。 外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	<p>日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざします。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年6月から2019年5月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したのですが、ファンドを設定してから1年を経過していないため、ファンドの年間騰落率は記載していません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2019年6月20日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第1期末 2019年6月20日
ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て	98.9%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

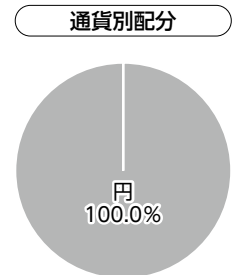
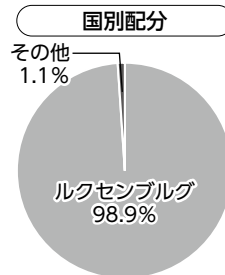
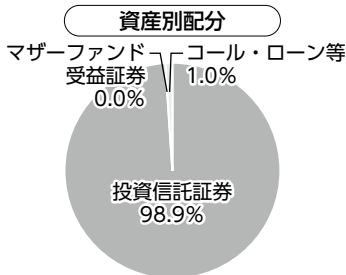
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目	第1期末 2019年6月20日
純資産総額 (円)	10,461,650
受益権口数 (口)	10,519,017
1万口当たり基準価額 (円)	9,945

※当期中において追加設定元本は10,519,017円
同解約元本は 0円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

- ▶ **ブラックロック・グローバル・ファンズーフィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て**

開示すべき情報はありません。

968469

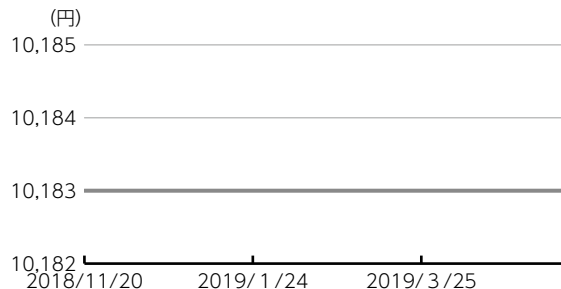
2019年5月20日現在

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2018年11月20日～2019年5月20日



1万口当たりの費用明細

2018年11月21日～2019年5月20日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,183円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

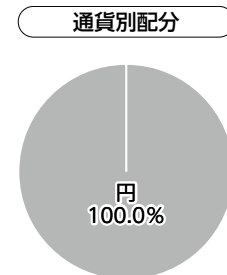
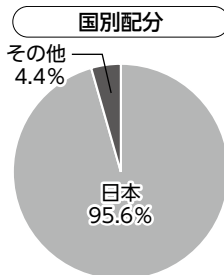
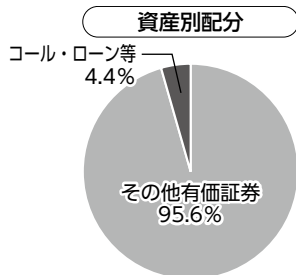
(組入銘柄数：1銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	イオンプロダクト 190521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	95.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、その他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
 ※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの
 余裕資金等と合せて運用しているものを含まます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。